

# 石川県商工会大会表彰

(平成二十四年度)

去る10月24日、石川県地場産業振興センター本館大ホールにおいて県下600名余りの会員が参加し、盛大に開催されました。席上、優良従業員表彰をはじめ各種表彰式が行われ、かほく市商工会では、次の皆様が表彰を受けられました。

## 石川県商工会連合会長表彰

### ◎ 地域貢献企業

(株)砂山組

砂山和義

(有)塩本プレス

塩本裕之

(株)梶運送

梶 嘉仁

(機械部品製造加工業)

(貨物自動車運送事業)

(一般土木建築工事業)

### ◎ 役員功労者

(商工会役員として通算9年以上在任)

今村 修  
かほく市商工会副会長

小泉 博  
一かほく市商工会理事

二口 韶前  
かほく市商工会理事

◎ 優良従業員  
(20年以上勤務)

古川 豊  
(株)久保健材工業

(順不同)



代表として賞状を受ける  
副会長の今村修さん

## 接客セミナー

10月5日株式会社佳論、代表取締役辰巳明弘さんをお招きして接客講習会が行われました。かほく市の会員の皆様、市外からのお客様と併せて33名の方が参加されました。今回の研修で一番学んだことは“心に元気と笑顔”です。グループに分かれ体を使うことで自然と元気が出、照れもありましたが皆様が終始ニコニコと笑顔が絶えない講習会でした。この調子で心のスイッチをON!にしたままそれぞれが職場に戻りここで学ばせていただいた接客精神を実行していきたいと思います。先生は1時間30分という短時間で長年培ってきた事を皆様にお伝えするのは難しいと言われておりましたが、その一握りでも教えて頂けたことに大変嬉しく思います。北陸新幹線が開通することもあり、お出迎えさせて頂く立場として大変勉強になりました。辰巳先生、参加者の皆様、貴重で有意義な時間をどうもありがとうございました。



## 機電化部会 先進地視察研修

去る10月26日(金)～27日(土)14名の参加で、精密機器等の先端企業が集中する京都市の2企業への先進地視察研修を実施した。1社目は、京都市南区にある(株)カシフジ、ギャ(歯車)を切削加工するホブ盤と呼ばれる工作機械のメーカーで、大正2年創業、来年創業100年を迎える老舗企業である。風力発電機の増速機、タービン発電機、建機など様々な分野のギヤを切削加工する機械は一度導入すると長期に活用されるもので、50年前に製造した機械が導入先企業で現役稼働していることが多い。オーバーホールや部品の交換、修理などアフターケアを重視しており、これを継続するため古くからの技術の伝承に力を入れている。「使う人の立場に立った最高の機械を」を企業理念とし、部品の内製化率を下げないなど独自のものづくりの姿勢を貫く企業であった。

2社目は、京都市伏見区の株寺内製作所、偶然株カシフジ同様、大正2年創業、来年創業100年を迎える。第2次世界大戦前は軍需工場として航空機部品を製造していたが、2回の会社更生法(倒産)を経て経営者も入れ替わり、社員が大株主となって現在の企業が成り立っている。1980年代に航空分野に特化したことが成功し、今では航空宇宙関連のネジ・ボルト部品を主に製造している。取引先は防衛庁、三菱重工、川崎重工、住友精密工業など大手がほとんどで、これらの企業は、取引先に対して材料、製造方法の独自の認定基準を設けている。基準を満たして認定を受けて初めて取引が始まる。認定取得は大変煩雑で時間もかかる反面、認定を取るとそれが参入障壁となりその部品の受注が10年間続くなど一般市場とは異なる特殊な受注環境であるが、その環境にうまく対応している。

(株)カシフジ工場内見学

## 経営講習会

### 経営とは「売上づくり」ではなく、「お客様づくり」

「お客様が増える法則」をテーマに、10月16日経営講習会を開催いたしました。講師は“お客様が増える★プロダクション”村上透先生です。先生は、大きな企業ではなく、小さな企業で元気のある企業を取材され、その企業がどうして元気なのか!を実例をあげて紹介して頂きました。実例は京都の「靴屋」と大阪の「割烹料理店」福岡の「エステサロン」の3店舗でした。それぞれのお店は、借金が膨れあがり、お客様が来ない、毎月赤字など苦境の中から立ち直った事例です。先生の取材の実例からは、絶対絶命状態からでも経営の勉強をして挽回している経営者の熱意の大切さを学びました。



## 商業部会の視察研修

11月11・12日の二日間、14名で商業部会の視察研修を実施致しました。京都の「フットクリエイト」と言う小さな靴屋さんの経営のやり方を学ぶことが今回の大きな目的でした。この靴屋さんは、足の痛い方をターゲットにした独特な経営をされておられ、靴屋なのに足の診断から始め、なぜ、足が痛いのかをお客様に分かっていただき、お客様にあったインソール(中敷)、靴を販売するやり方です。ですから、現在11,000人ものお客様のカルテがあるそうです。私は靴を販売しているのではありません。「歩く喜びを提供しているのです」と言われ、本当の足のプロフェッショナルとして勉強されていることに感動しました。足の痛い方は是非、この靴屋さんをお勧めします。

